

大阪大学蛋白質研究所「共同利用・共同研究」委員会
蛋白質立体構造データベース専門部会
議事要旨

日 時： 平成 30 年 2 月 28 日（水）15 時～16 時 20 分
場 所： 大阪大学蛋白質研究所 本館 2 階 大会議室
出席者： 栗栖源嗣（大阪大学蛋白質研究所）、藤原敏道（大阪大学蛋白質研究所）、
井上 豪（大阪大学大学院工学研究科）、神田大輔（九州大学生体防御医学研究所）、
千田俊哉（高エネルギー加速研究機構物質構造科学研究所）、
山本雅貴（理化学研究所放射光科学総合研究センター）、
由良 敬（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）、
上村みどり（帝人ファーマ(株)生物医学総合研究所)
欠席者： 中村春木（大阪大学蛋白質研究所）

議事に先立ち、栗栖部会長から（資料-0）に基づき、前回議事要旨の確認依頼の後、（資料-1）に基づき、本部会の位置づけ及び所掌等について説明があった。引き続き、（資料-2）に基づき、委員の紹介があり、今年度で任期満了の委員については、来年度からの 2 年間も就任をお願いしている旨の説明があった。

【協議・承認事項】

議事 1. 蛋白質立体構造データベースの運営状況について

栗栖部会長から、（資料-3-1）及び（資料-3-2）に基づき、平成 29 年度の蛋白質立体構造データベースの運営状況について報告があった。

- 国際組織 wwPDB メンバーとして、PDB アーカイブの構築・データ検証・公開について管理運営を行ってきたことについて報告があった。
- wwPDB AC 会議（国際蛋白質構造データバンク諮問委員会）について、以下の報告と説明があった。
 - ・今年度米国で開催された会議には、井上委員と由良委員に参加いただいた。なお、次回は、2018 年 11 月 2 日にケンブリッジで開催されるが、2 名参加いただきたい旨の説明があり、調整の結果、井上委員及び山本委員に参加いただくことになった。
 - ・本会議への参加者は 3 年を目処に交代することが wwPDB AC で推奨されているため、次回以降について、今後は順番を決めておくことも検討したいとの発言があった。
 - ・本会議について、再来年度（2019 年度）は、本学で開催予定である旨の報告があった。
- 事業の予算について、非常に基盤的な事業であり公的資金により運営されることが望ましいが、JST からの補助金総額が減っており、人件費の一部は、共同利用・共同研究拠点費用からも部局負担分として支出し運営を行っていることが説明された。
- データベースの利用促進、人材育成について、以下の報告と説明があった。
 - ・開催に先立ち、新委員として上村委員が紹介されたが、企業研究者として企業ユーザーからの要望を積極的に集めたい旨の説明があった。
 - ・wwPDB Foundation（米国内の NPO 法人）と学術振興会の 169 委員会に栗栖部会長が加わり、2017 年 11 月開催の意見交換会に出席したことが報告された。

